

「報酬請求EX」機能アップ版 概要(Ver.4.00)

「報酬請求EX Ver.4.0」での対応内容をご案内します。

1. データの利用について

データ移行対象バージョン・・・スタンドアロン版 Ver.3.0以降

ネットワーク版 Ver.3.1以降

上記のバージョンからデータ移行が可能です。

2. システムの変更内容

以下の機能アップ及び変更を行います。

請求額からの値引機能追加

「値引伝票入力」機能を追加し、請求額からの値引処理を行えます。

再翌期更新機能の追加

「再翌期更新処理」機能を追加し、前期繰越残高の修正が行えます。当期データを削除せずに前期データの修正を行い、修正内容を当期データに反映させることが可能です。

顧問先グループ機能の追加

「顧問先グループ」機能を追加し、伝票入力や帳表出力指定画面で、グループ単位による顧問先の絞り込みが行えます。

支払調書編集機能の追加

自動計算した支払調書の内容を任意に追加、変更等行えます。

所得の内訳書編集機能の追加

自動計算した所得の内訳書の内容を任意に追加・変更等行えます。

伝票ごとの請求額計算機能追加

伝票ごとに源泉税額、消費税額、消費税課税区分の直接入力、および選択ができます。

請求書番号の指定機能追加

月締処理のタイミングで、自動付番された請求書番号を任意の請求書番号に変更できます。

取引金融機関の設定に関する変更

口座番号の入力桁数を8桁 15桁に変更し、郵便局の登録にも対応できます。また、請求書の報酬振込先の出力を、指定した順序で出力できます。

肩書および顧問先名敬称出力の対応

請求書等の帳票に肩書、および敬称を出力できます。

対象帳票：請求書、見積書、領収証、宛名ラベル

請求一覧表出力の変更

明細行出力や税を別行に出力することができます。

請求書出力の変更

請求書番号出力、締日出力、税を別行に出力、立替を別行に出力、自振分は出力しない等、請求書の出力内容の条件を選択できます。

3. 動作環境

使用環境	スタンドアロン	ネットワーク版	
		クライアント	サーバ
OS	WindowsRXP/2000/Me/98 (*1)	WindowsR2000Server WindowsRServer2003 (*1)	
メモリ	64MB 以上 (128MB 以上推奨) XP/2000 の場合 128MB (256MB 以上推奨)	256MB 以上	
CPU	お使いのOS が推奨する環境以上 (PentiumR 500MHz 以上推奨)		
ディスプレイ	解像度:1024×768 ドット(小さいフォント)以上 WindowsR XP の場合は標準フォント 表示色:high Color(16Bit)以上		
HDD	30MB 以上	18MB 以上	15MB 以上
データ容量	初期容量 2MB + (登録数×(*2)MB)	-----	初期容量 2MB + (登録数×(*2)MB)
最大用紙サイズ	B4		
プリンタ	レーザープリンタ (ポストスクリプト対応プリンタ除く) (*3)		

(*1): Windows® Server 2003は、サーバ用として使用する場合のみ動作保証します。クライアント、スタンドアロン版用として使用することはできません。また、クライアントは Windows®XP/2000Professional を誤使用下さい。

(*2): 顧問先の伝票登録数等により容量が変わります。顧問先1件あたり1ヶ月の伝票が10枚で毎月請求を行うと約140KBです。

(*3): カラープリンタは EPSON 製が対象です。